

山麓もよう

交流の家周辺の体験情報をご紹介します！

【鶉山(うずらやま)】

旧前橋市の最北端の場所であり、旧富士見村、旧大胡町、旧宮城村との境界地点でもあった「鶉山」。

ここ数年は生い茂る篠竹に道を塞がれ、登山道も埋もれていましたが、地元の方々の作業により、交流の家方面からのアクセスができるようになり、新たな標識も設置されました。標高は639mほどで、標高500mの交流の家からはアップダウンも少なく(山頂手前だけ急な坂)、



山頂からは植林された森も見えます。

ハイキング気分で行って来られます(往復で3km、90分程度)。山頂からの見晴らしはそれほど開けているわけではありませんが、冬場の澄んだ空気の中では、木々の間からスカイツリーや東京のビル群も確認できます。ちょっとした散策やノルディックウォークの練習に登られてみてはいかがでしょうか。

(文：根岸)

- 所要時間: 交流の家から往復→徒歩約90分~120分
- 対象: 幼児以上、小学校の低学年のハイキングにオススメのコースです。
- ※赤城の松枯れの様子と植樹された森を見比べることが出来ます。

『人を育てる』と『人が育つ』

リレーcolumn
またっふの目

文: 木暮 敦
【こぐれ あつし】



最近、3児のパパになりました♪
4月からは、利用チームのキャプテンです。

交流の家に来て2年目が終わろうとしています。社会教育と出会い、学校にいた頃の自分と今の自分を振り返ってみると、ある変化が起きていることに気がつきました。

教員はまさに「教え、導く」教育者であり、指導者です。一方、施設職員は「子どもたちの学びの場を提供する」支援者であり、コーディネーターです。教材は自然や仲間、体験そのものだったりもします。

任されたクラスや部活動の子たちを一生懸命「育てよう」としていた教員時代。今は子どもたちが健やかに「育つ」ために、大人が何をすべきかを考えている自分があります。両方の「目」をもち、どちらの大切さも理解できるからこそできることがきっとあるはず。互いが車の両輪となつてすすんでいけるように、4月からこの赤城で頑張ります。

つぶやき田

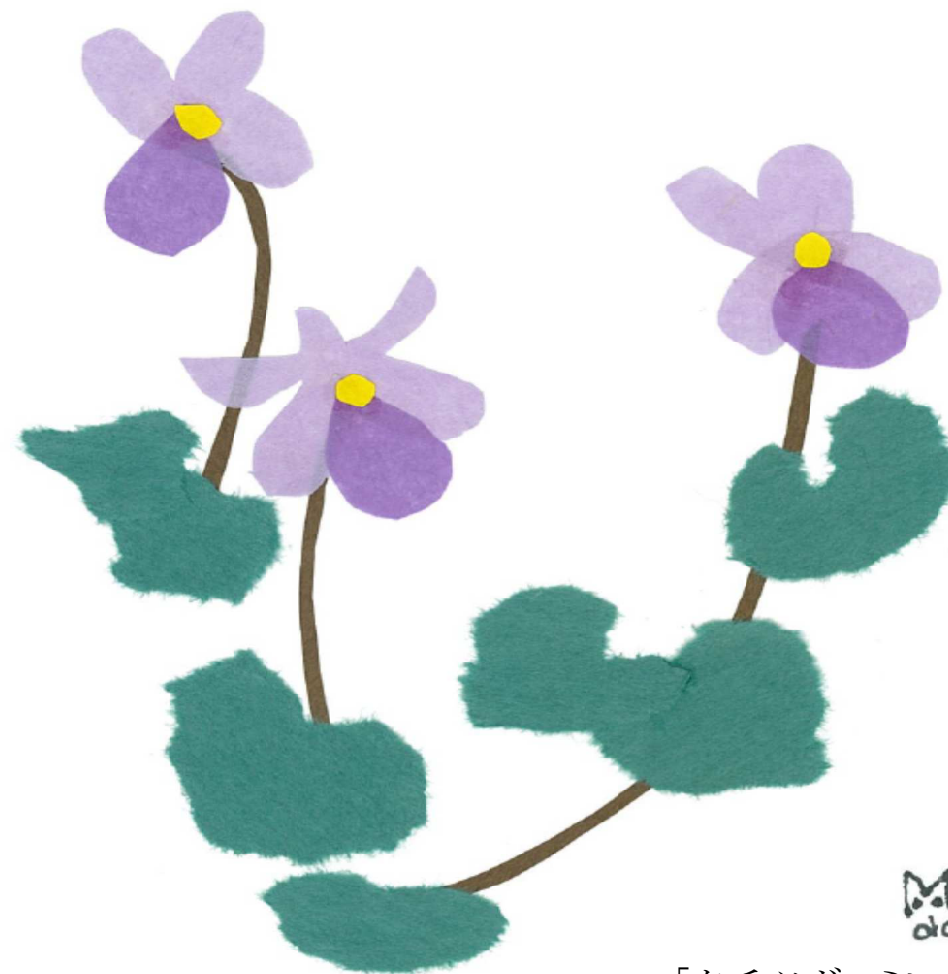
【テーマ:春だなあ〜と感ずること】

- バイク乗りとしては待望のシーズンですが、いつも仕事が忙しい時期なので、身体の疲労感でも春を感じちゃうのが辛いところ... (原田)
- 日中に眠気が増す、汗をかく頻度が高くなる、イベント「桜フェスタ」の準備で皆が動いていることです。(中屋)
- 暖かく晴れた日の夜、土が蒸れたようなにおいがするときに、桜模様の缶ビールが出てきたとき。(手島)
- 卒業、新入学、入社式...今年はその知らせが教え子から届き始めたとき、春を感じました。(木暮)
- 卒業式、入学式、入社式...と式が自分に季節を教えてくださいます。井上式ダイエットで冬に蓄えたモノを燃やすぜ(井上)
- 菜の花、桜、フキノトウにタラの芽。街で袴姿の女子大生を見ると春を実感します。赤城の桜吹雪もみごとです。(杉浦)
- チューリップの球根を昨年秋に植えて芽が出てきました。「あかぎ南ろく“桜フェスタ”」に咲けばいいなあ。(松崎)
- 朝、新聞を取りに外に出る瞬間。躊躇なく外に出られるようになると、春ですね。(根岸)
- 堇、蓮華、南風。卒業証書の筒のポコンって音。真新しいランドセル。5時前に目が覚め、肉離れしなくなる。春だ!(小川)
- “別れ”。頼りがいのある、あの姿を目標に、僕もいつかそうなってみせる。(落合)
- 毎年やっているキャンプの準備が始まるとき、机の整理をするとき、仲間が去り、そして新たな仲間がやってくる時。(高瀬)
- 別れでせつないと思うと春だと思えます。出産で2度目の赤城卒業。希望と期待でわくわくでもあります!(川崎)
- 山々が白やピンクに彩られ...その後、萌木色に移りゆく...「季節の変化」を感じます。(鈴木)
- オオイスナフグリの青くて小さな花々がチラチラと揺れる時。生温い風に乗った花粉。(山田)
- 気温が上がり車のフロントガラスが凍りつかなくなったこと。(森田)
- 最近料理をするので、先日、野菜売り場に春野菜が並んでいるのを見たときには、春だなあ〜と感じました。(高橋)
- 先日前任校の卒業式に参加し春を感じました。2年間担任をした生徒が立派に成長した姿を見ることができました。(根本)
- 春のオススメ検索ワード 天王桜、華蔵寺公園、鯉のぼり祭り、高崎スプリング。是非(o)/江原)
- 少しずつ暖かくなってきて、周りの雰囲気も徐々に慌ただしくなってくると春を感じます。(織間)
- 雨ですね。雨上がりのにおいがいいですね。最近の雨は春を感じます。(新井)
- 春を一段と感じる今日この頃です。私は花粉症で毎日涙、涙です。早く終わってほしいよ〜。夏も早く来い。(佐藤)
- ホトケナザの鮮やかなピンク色を見つけた時、春は近くまで来てるぞ〜って思います(黛)

風と太陽のくにからの通信誌

カラゴロリ

4-5
2015



Mi:
dori

「タチツボスマイル」

道路縁や里山の土手などに咲いているスマイル。日本にあるスマイル科植物は約60種類ありますが、その中でもタチツボスマイルは分布域が広く、名前についている「坪(ツボ)」も、庭のようどこでも見ることができることからついたと言われている。

丸くハート形の葉っぱが特徴的で、花も淡い紫色と可愛い。スマイルにはそれぞれ特徴があるので、図鑑を持ってスマイル探しに出かけてみませんか?

次号は、
6月1日発行予定!

風のおと

『赤城山エコツーリズム』

去年は、日本に来た外国人観光客が1,200万人を超えたそうですね。さすがに赤城ではあまり見かけませんが、都内に出張で行くと居住者も多いでしょう、かなりの外国人を見ます。

また最近、大都市ばかりではなく北海道のスキー場や飛騨高山、さらには猿が入る温泉などにも多くの外国人観光客が来ているようです。日本人以上に文化や自然に入り込んだディープな旅行を求めているでしょう。

私もこの地域の再発見になりえる赤城山エコツーリズム協議会の立ち上げに昨夏から関わってきました。“環境に配慮した観光”の素材を掘り出してみると、無農薬野菜や森林セラピー、名人と呼ばれる方々が

たくさん出てきます。これらを自家用車で巡るだけではなく、電車や自転車、徒歩でも繋げていくことが課題です。

エコツーリズムの先輩である『谷川岳エコツーリズム』では天神平の星空観察が大ヒットしていますが、見える日は2割もないということもワクワク感を増しています。オーロラと似ていますね。

赤城はどんなツアーができるのが、地域の皆さんで議論が盛り上がっていくのは楽しい時間です。首都圏の方や外国人が赤城にたくさん来てくれる日もそう遠くはないと信じています。

所長 杉浦俊之

「交流の家HP」
「Facebook」で
当所の情報を更新中

体験の風を
おこそう



国立赤城青少年交流の家 <http://akagi.niye.go.jp/>

TEL:027-289-7224(9:00~18:00)

FAX:027-289-7226

あかぎ カラゴロリ

検索

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27

E-mail:akagi@niye.go.jp



～想いでつながる、そしてはじまる～

2月14日(土)～15日(日)、1泊2日で自然体験フォーラムが行われました。県内外から自然体験に関わっている人、これから関わってきたい人が約150名集まり、時間が許す限り、お互いの想いを語り合いました。



このフォーラムは、昨年行われるはずでしたが、大雪で中止となり、1年越しで開催することが出来ました。群馬県内で活躍する方々と実行委員会を立ち上げ、何度も何度も話し合い、かたちにしてきました。

今年のテーマは「想いでつながる、そしてはじまる」。様々な想いを持った参加者が自分とは全く違ったフィールドで活動している人たちと積極的に関わっている場面が多く見られました。

全部で12のワークショップに分かれ、参加者同様、熱い想いを持った講師の方々の話に耳を傾けていました。それぞれのワークショップの中では盛んに意見交換が行われていて、参加者の皆さんは自分の考えを発言するだけでなく、自分では考えないような提案などに刺激を受けているように見えました。



30組限定でスペースを設けたポスター発表ブースも団体ごとに個性豊かな展示方法でアピールしており、ポスターセッションの時間には、たくさんの人で賑わっていました。それぞれのブースの前に団体担当が立ち、普段行っているプログラムの紹介や、活動のこだわりについて説明をしてくれました。

自然体験をキーワードに活動している人たちが同じ場所に集まる



H26 国立赤城青少年交流の家 教育事業 自然体験フォーラム

ことだけでもこの自然体験フォーラムの目的を達成出来たかのように見えますが、そのつながりからかたちにするものが1つでも生まれてきたら、群馬を中心とした地域の自然体験活動がもっと盛んになっていくと思います。

また来年も新たなつながりを作るために開催します。ぜひまた赤城へお越し下さい。(文：黛)



ワークショップ一覧

- 1-A 赤城自然園の紹介と森林セラピー(赤城自然園)
- 1-B 自然体験・農体験(NPO法人アグレコ)
- 1-C 森のようちえんワークショップ(NPO法人あかぎの森のようちえん)
- 1-D 刃物研ぎ講座(工房 凜)



- 2-A 県森の環境教育プログラムどう使う?(栃木県民の森 森林展示館)
- 2-B ウィルダネスファーストエイド(WMA J)
- 2-C アドベンチャーレースの魅力と群馬(EAST-WIND)
- 2-D 自然体験で生きていく(国立赤城青少年交流の家)



- 3-A パパのための森遊びワークショップ(ママプログラム)
- 3-B 観光振興と環境保全について(赤城山観光連盟理事)
- 3-C 日本と世界を結ぶソーラーッカー(足利工業大学総合研究センター、チャウス自然体験学校)
- 3-D 企業と協働の在り方を探る(サンデンファシリティECOS事業部)



プログラム紹介!



【木の实ハンティング】

赤城の森の中に入って、「木の実や種」を探すプログラムが、平成27年度から登場します。学校や近所にある木の実にも気づけるようになったら大成功。いつもは通り過ぎてしまう「小さな自然」に気づききっかけをつくります。



他の活動と組み合わせても効果的です。「森林守り隊」では、林を歩いた後に森の役割を学び、「森のこびん」では拾った木の実をすぐに使うことが出来て、お土産にすることも可能です。



森の「エビフライ」と呼ばれる、この木の実は、どこにあるでしょう？

活動のねらいに合わせて、ご利用ください。(文：山田)

国立赤城青少年交流の家で活躍する、非常勤講師やボランティアの方をご紹介します

この人に会いたい

●国立赤城青少年交流の家 研修指導員(ネイチャーゲーム) 加藤 正幸さん、加藤 まり子さん



加藤夫妻は、群馬県桐生市を拠点にNPOの「チャウス自然体験学校」でご活躍しています。主に子どもを対象とした川や森遊び、登山など自然体験活動を通じたキャンプを実施しています。

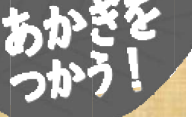
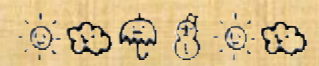
いつも元気で優しい笑顔のお二人です。

また、親子や大人を対象としたキャンプの他、野外活動の普及のため、自然体験指導者の養成なども行っています。そんな加藤ご夫妻は、交流の家で「ネイチャーゲーム、レクリエーション、キャンプファイヤー」の研修指導員として、多くの経験と豊富な知識を生かし活動されています。

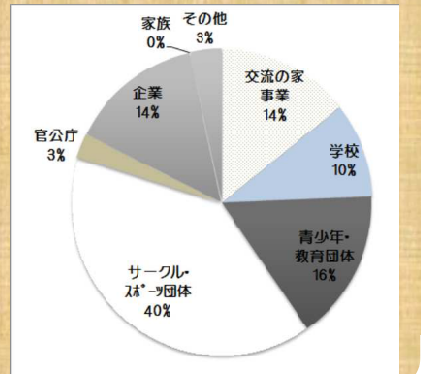
2人の自然体験活動との出会いは、正幸さんが幼少期から近所の山や野原、川で遊んだ体験で、まりさんが小学校の子ども会で行ったキャンプだそうです。自分たちの体験から、多くの子どもたちに自然と触れ合うことで得られる素晴らしい体験をしてもらいたいと活動に取り組んでいます。

「チャウス自然体験学校」ホームページはこちら→ <http://www.chaus-neos.com> (文：新井)

利用のようす(2～3月)



- 2月の利用者数 ...6,330人 53団体
- 3月の利用者数 ...7,948人 66団体



★利用団体種類別の割合⇒

ご利用のみなさまの声をもとに 4月より改善いたします



いつも国立赤城青少年交流の家をご利用くださりありがとうございます。

交流の家では、アンケートなどでご要望いただいた内容をふまえ、4月より下記のような改善をはかります。みなさまにとって利用しやすい施設づくりをめざして参ります。どうぞ今後も交流の家へさまざまな声をお届けください。

1. 入浴時間を23時までに変更しました

入浴時間を23時までから30分間延長いたしました。ただし、就寝時間は23時のままですので、できるだけお早めにご入浴くださいますようお願いいたします。

2. 朝の時間を変更しました

起床時間を6時、朝のつどいを7時、朝食開始時間を7時20分からに変更しました。朝の慌ただしさ、食堂の混雑の解消につながればと考えております。

3. 館内を十足で使用出来るようにいたしました

今までは上履きをご用意いただき、玄関で履き替えをお願いしていましたが、体育館・アクティビティホール・柔剣道場・プレイルームのみ上履き(体育館履き)使用としそれ以外は土足利用可能にしました。講堂へも土足のまま入ることが出来ます。登山靴やスパイクなど、底の硬い靴をご利用の場合は、館内履きをご用意くださるようお願いいたします。

お知らせ



『テニスコートを一部廃止します』

国立赤城青少年交流の家には6面のテニスコートがありますが、安全管理上の理由からこのうち4面(A～D)を9月30日(水)をもって廃止し、今後は2面(E・F)のみの使用としていきます。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

これからの動き

下記の事業の詳細はこちらまでお問合せください ⇒TEL027-289-7224(国立赤城青少年交流の家)

- 第4回 あかぎ南ろく桜フェスタ【4月11日(土)】※日帰り 約40団体が出店するイベントです。ツリーイングやマスのつかみ取り、和太鼓やダンスステージなど盛りだくさん！
-出店・出演団体.....
- ・7年会有志
- ・前橋マンドリン楽団
- ・オリエンタルジャパン株式会社
- ・大崎つりぼり
- ・あかぎネイチャーゲームの会
- ・前橋市立富士見中学校吹奏楽部
- ・アエントリーフーズ株式会社
- ・富士見商工会青年部
- ・生活協働組合
- ・風神桜馬
- ・子どものくらしを守る会
- その他たくさん！！

- 利用・プログラム相談会
- プログラム紹介や組み立て方についての打ち合わせ
- 4/2～6、18、19、25、26、29、5/2～4、9、10、16、17、23、24、30、31、6/13
- 定員:1日6団体 ※先着順
- 野外炊事スキルアップ研修
- 4/18、25、5/2、4、9、16、23、6/13、30
- 定員:1日3団体12名 ※先着順
- 登山スキルアップ研修
- 4/29(水)、5/6(水) 9:30集合
- 定員:20名 ※先着順
- *詳細は交流の家ホームページをご覧ください*



- ボランティア養成セミナー
- 5/16(土)～17(日) 1泊2日
- ボランティアに関する知識を学習したり、人間関係を構築するための技術を習得したり、社会に積極的に関わろうとする若い人材を育成します。